

1 1から100までの整数のうち、次のような整数は何個あるか。

(1) 3で割り切れる数

(2) 3と5の少なくとも一方で割り切れる数

(3) 4の倍数であるが、3の倍数でない数

2 あるクラスの生徒40人について通学方法を調べたところ、電車を利用する生徒は23人、自転車を利用する生徒は11人、電車と自転車の両方を利用する生徒は9人いた。このとき、次のような生徒は何人いるか。

(1) 電車も自転車も利用しない生徒

(2) 自転車だけを利用する生徒

1 1から100までの整数のうち、次のような整数は何個あるか。

(1) 3で割り切れる数 ← Aとする

$$100 = 3 \times 33 + 1$$

$$A = \{3 \times 1, 3 \times 2, \dots, 3 \times 33\} \quad 33 \text{個}$$

$$n(A) = 33$$

(2) 3と5の少なくとも一方で割り切れる数

5で割り切れる数の集合をB $100 = 5 \times 20$

$$B = \{5 \times 1, 5 \times 2, \dots, 5 \times 20\} \quad n(B) = 20$$

3でも5でも割り切れる... 15の倍数 $100 = 15 \times 6 + 10$

$$A \cap B = \{15 \times 1, 15 \times 2, \dots, 15 \times 6\} \quad n(A \cap B) = 6$$

$$n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B) \text{ より}$$

$$33 + 20 - 6 = 47 \text{個}$$

(3) 4の倍数であるが、3の倍数でない数

← Cとする $C = \{4 \times 1, 4 \times 2, \dots, 4 \times 25\}$ $n(C) = 25$

4の倍数かつ3の倍数は12の倍数 $100 = 12 \times 8 + 4$

$$C \cap B = \{12 \times 1, 12 \times 2, \dots, 12 \times 8\}, \quad n(C \cap B) = 8$$

$$n(C \cap \bar{B}) = n(C) - n(C \cap B) = 25 - 8 = 17 \text{個}$$

2 あるクラスの生徒40人について通学方法を調べたところ、電車を利用する生徒は23人、自転車を利用する生徒は11人、電車と自転車の両方を利用する生徒は9人いた。このとき、次のような生徒は何人いるか。

(1) 電車も自転車も利用しない生徒

電車を利用するまたは自転車を利用する生徒は

$$23 + 11 - 9 = 25 \text{人}$$

よって電車も自転車も利用しない生徒は

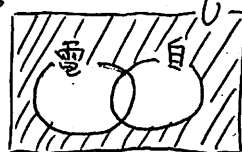
$$40 - 25 = 15 \text{人}$$

(2) 自転車だけを利用する生徒

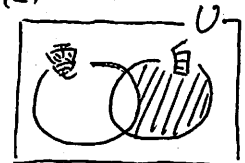
$$(\text{自転車を利用する生徒}) - (\text{電車も自転車も利用する生徒})$$

$$11 - 9 = 2 \text{人}$$

参考 (1)

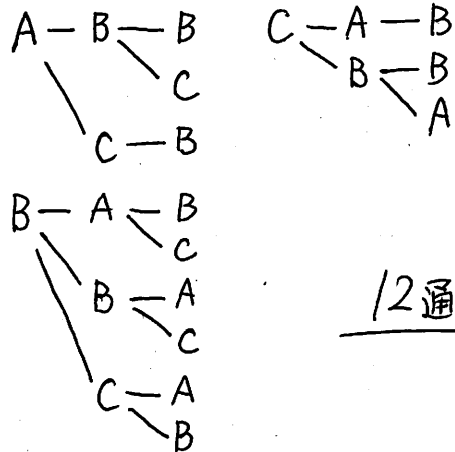


(2)



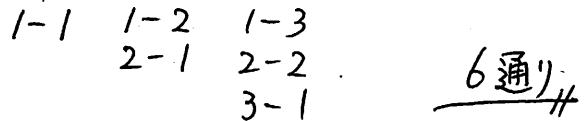
1 4個の文字 A, B, B, C から3個選んで1列に並べる場合の数をすべて求めよ。

1 4個の文字 A, B, B, C から3個選んで1列に並べる場合の数をすべて求めよ。



2 大小2個のさいころを投げるとき、目の和が4以下の数になる場合は、何通りあるか。

2 大小2個のさいころを投げるとき、目の和が4以下の数になる場合は、何通りあるか。



3 次の式を展開すると、項は何個できるか。
(1) $(a+b)(x+y+z+w)$

3 次の式を展開すると、項は何個できるか。
(1) $(a+b)(x+y+z+w)$

$2 \times 4 = 8$ 個 #

(2) $(a+b+c+d)(x+y)(p+q+r+s+t)$

(2) $(a+b+c+d)(x+y)(p+q+r+s+t)$

$4 \times 2 \times 5 = 40$ 個 #

4 240の正の約数は何個あるか。また240の正の約数の総和を求めよ。

4 240の正の約数は何個あるか。また240の正の約数の総和を求めよ。

$240 = 2^4 \times 3 \times 5$ より
 $5 \times 2 \times 2 = 20$ 個 #

$$\begin{array}{r} 2 \overline{)240} \\ 2 \overline{)120} \\ 2 \overline{)60} \\ 2 \overline{)30} \\ 3 \overline{)15} \\ 5 \end{array}$$

その総和は

$(1+2+2^2+2^3+2^4)(1+3)(1+5)$
 $= 744$ #

発展 240の正の約数のうち奇数は何個あるか。その総和は?

発展 240の正の約数のうち奇数は $(1+3)(1+5)$ の部分なので $2 \times 2 = 4$ 個
その和は $4 \times 6 = 24$ となる。

1 次の値を求めよ。ただし、 n は整数とする。

(1) ${}_5P_2$

(2) ${}_7P_4$

(3) ${}_nP_3$ ($n \geq 3$)

2 次のものの総数を求めよ。

(1) 8人の生徒から3人を選んで1列に並べるときの並べ方

(2) 1から9までの9個の数字から異なる4個を選んで作る4桁の整数

(3) 5人全員を1列に並べるときの並べ方の総数

3 大人5人、子ども4人が1列に並ぶとき、つぎのような並び方は何通りあるか。

(1) 子ども4人が続いて並ぶ

(2) 大人と子どもが交互に並ぶ

1 次の値を求めよ。ただし、 n は整数とする。

(1) ${}_5P_2$

(式) $= 5 \times 4 = \underline{20}$ #

(2) ${}_7P_4$

(式) $= 7 \times 6 \times 5 \times 4 = 42 \times 20 = \underline{840}$ #

(3) ${}_nP_3$ ($n \geq 3$)

(式) $= \underline{n(n-1)(n-2)}$ #

2 次のものの総数を求めよ。

(1) 8人の生徒から3人を選んで1列に並べるときの並べ方

${}_8P_3 = 8 \times 7 \times 6 = \underline{336}$ 通り #

(2) 1から9までの9個の数字から異なる4個を選んで作る4桁の整数

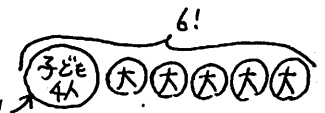
${}_9P_4 = 9 \times 8 \times 7 \times 6 = \underline{3024}$ 通り #

(3) 5人全員を1列に並べるときの並べ方の総数

${}_5P_5 = 5! = 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = \underline{120}$ 通り #

3 大人5人、子ども4人が1列に並ぶとき、つぎのような並び方は何通りあるか。

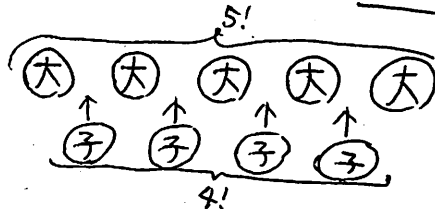
(1) 子ども4人が続いて並ぶ



$6! \times 4! = 720 \times 24 = \underline{17280}$ 通り #

(2) 大人と子どもが交互に並ぶ

$5! \times 4! = 120 \times 24 = \underline{2880}$ 通り #



1 次の値を求めよ。ただし、 n は整数とする。

(1) ${}_7P_1$

(2) ${}_6P_3$

(3) ${}_nP_2$ ($n \geq 2$)

2 5個の数字0, 1, 2, 3, 4を使ってできる、次のような整数は何個あるか。ただし、同じ数字は2度以上使わないものとする。

(1) 4桁の整数

(2) 4桁の奇数

(3) 両端の数字が奇数である5桁の整数

(4) 5桁の偶数

1 次の値を求めよ。ただし、 n は整数とする。

(1) ${}_7P_1$

(5式) = $\frac{7}{\#}$

(2) ${}_6P_3$

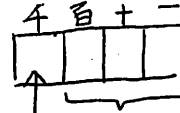
(5式) = $6 \times 5 \times 4 = \frac{120}{\#}$

(3) ${}_nP_2$ ($n \geq 2$)

(5式) = $\frac{n(n-1)}{\#}$

2 5個の数字0, 1, 2, 3, 4を使ってできる、次のような整数は何個あるか。ただし、同じ数字は2度以上使わないものとする。

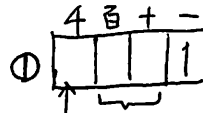
(1) 4桁の整数



千の位に使った数字以外の4つから3つ並べる ${}_4P_3$

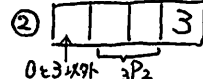
$4 \times {}_4P_3 = 4 \times 4 \times 3 \times 2 = \frac{96 \text{個}}{\#}$

(2) 4桁の奇数



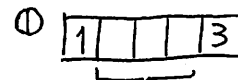
千と一の位に使った数字以外の3つから2つ並べる (${}_3P_2$)

※①と②は同じ個数
 $3 \times {}_3P_2 \times 2 = 3 \times 3 \times 2 \times 2 = \frac{36 \text{個}}{\#}$



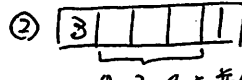
これは①と同じ

(3) 両端の数字が奇数である5桁の整数



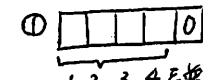
0, 2, 4を並べる 3!

$3! \times 2 = \frac{12 \text{個}}{\#}$



0, 2, 4を並べる 3!

(4) 5桁の偶数



1, 2, 3, 4を並べる $4! = 24$



万と一の位に使った数字以外の3つから3つ並べる ($3!$)

$3 \times 3! = 18$

③ $\square\square\square 4 \rightarrow$ ②と同じ個数 18

① + ② + ③ = $24 + 18 + 18 = \frac{60 \text{個}}{\#}$

1 5人が5人用の円卓を囲んで座るとき、並び方は何通りあるか。

2 大人2人と子ども4人が輪の形に並ぶとき、大人2人が続いて並ぶような並び方は何通りあるか

3 4個の数字1, 2, 3, 4を重複を許して使ってできる、次のような数は何個あるか。

(1) 4桁の整数

(2) 5桁の奇数

(3) 4桁の整数の中で3200より小さい整数

4 次の値を求めよ。

(1) ${}_5C_2$

(2) ${}_{20}C_{18}$

(3) ${}_nC_2$ ($n \geq 2$)

1 5人が5人用の円卓を囲んで座るとき、並び方は何通りあるか。

$$(5-1)! = 4! = \underline{24 \text{通り}} \#$$

2 大人2人と子ども4人が輪の形に並ぶとき、大人2人が続いて並ぶような並び方は何通りあるか

(大人2人) (小) (小) (小) (小) の円順列

↑
2!通り

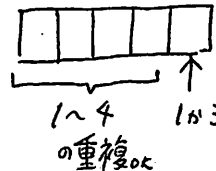
$$2! \times (5-1)! = \underline{48 \text{通り}} \#$$

3 4個の数字1, 2, 3, 4を重複を許して使ってできる、次のような数は何個あるか。

(1) 4桁の整数

$$4 \times 4 \times 4 \times 4 = \underline{256 \text{個}} \#$$

(2) 5桁の奇数



$$4 \times 4 \times 4 \times 4 \times 2 = \underline{512 \text{個}} \#$$

(3) 4桁の整数の中で3200より小さい整数

$$\begin{array}{|c|c|c|c|} \hline 1 & & & \\ \hline \end{array} \rightarrow 4 \times 4 \times 4 = 64$$

$$\begin{array}{|c|c|c|c|} \hline 2 & & & \\ \hline \end{array} \rightarrow 4 \times 4 \times 4 = 64$$

$$\begin{array}{|c|c|c|c|} \hline 3 & 1 & & \\ \hline \end{array} \rightarrow 4 \times 4 = 16$$

$$64 + 64 + 16 = \underline{144 \text{個}} \#$$

4 次の値を求めよ。

(1) ${}_5C_2$ (5式) = $\frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = \underline{10} \#$

(2) ${}_{20}C_{18}$ (5式) = ${}_{20}C_2 = \frac{20 \cdot 19}{2 \cdot 1} = \underline{190} \#$

(3) ${}_nC_2$ ($n \geq 2$) (5式) = $\frac{n(n-1)}{2 \times 1} = \underline{\frac{n(n-1)}{2}} \#$

1 6人が6人用の円卓を囲んで座るとき、並び方は何通りあるか。

2 大人4人と子ども4人が輪の形に並ぶとき、大人と子どもが交互に並ぶような並び方は何通りあるか

3 10色ある色鉛筆から4色を選ぶ方法は何通りあるか。

4 正八角形について、次の数を求めよ。
(1) 対角線の本数を求めよ。

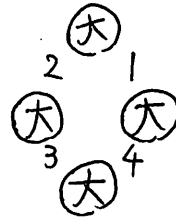
(2) 3個の頂点を結んでできる三角形の個数を求めよ。

(3) 3個の頂点を結んでできる三角形のうち、直角三角形であるものの個数を求めよ。
(正八角形 $A_0A_1A_2 \dots A_7$ について考える)

1 6人が6人用の円卓を囲んで座るとき、並び方は何通りあるか。

$$(6-1)! = 5! = 120 \text{通り} \quad \#$$

2 大人4人と子ども4人が輪の形に並ぶとき、大人と子どもが交互に並ぶような並び方は何通りあるか



大の円順列 $3!$ 通り

1, 2, 3, 4に子ども4人を並べる $4!$ 通り

$$3! \times 4! = 144 \text{通り} \quad \#$$

3 10色ある色鉛筆から4色を選ぶ方法は何通りあるか。

$${}_{10}C_4 = \frac{10 \times 9 \times 8 \times 7}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 210 \text{通り} \quad \#$$

4 正八角形について、次の数を求めよ。
(1) 対角線の本数を求めよ。

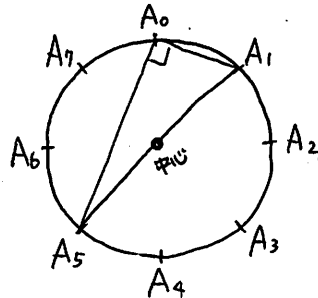
$${}_{8}C_2 - 8 = \frac{8 \times 7}{2 \times 1} - 8 = 20 \text{本} \quad \#$$

(頂点を結ぶ線分が2) (辺の数)

(2) 3個の頂点を結んでできる三角形の個数を求めよ。

$${}_{8}C_3 = \frac{8 \times 7 \times 6}{3 \times 2 \times 1} = 56 \text{個} \quad \#$$

(3) 3個の頂点を結んでできる三角形のうち、直角三角形であるものの個数を求めよ。



一辺を円の直径にすれば
よって左図で

$A_1A_5, A_2A_6, A_3A_7, A_4A_0$
の4通り。

このそれぞれに対して、

A_1A_5 ならば A_2 か A_3 か A_4 か
 A_6 か A_7 か A_0 をもう1つの頂点とすれば直角三角形となる(6通り)

$$\text{よって } 4 \times 6 = 24 \text{個} \quad \#$$

1 7人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

2 6人の生徒から視聴覚委員と図書委員を一人ずつ選ぶ方法は何通りあるか。

3 大人5人、子ども4人から3人を選ぶとき、次のような選び方はそれぞれ何通りあるか。

(1) 大人1人と子ども2人を選ぶ。

(2) 子どもが少なくとも1人含まれるように選ぶ。

4 8人を次のようにする方法は何通りあるか。

(1) 3人、3人、2人の3組に分ける

(2) 2人ずつの4組に分ける

1 7人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

$${}^7C_2 = \frac{7 \times 6}{2 \times 1} = 21 \text{通り} //$$

2 6人の生徒から視聴覚委員と図書委員を一人ずつ選ぶ方法は何通りあるか。

$${}_6P_2 = 6 \times 5 = 30 \text{通り} //$$

3 大人5人、子ども4人から3人を選ぶとき、次のような選び方はそれぞれ何通りあるか。

(1) 大人1人と子ども2人を選ぶ。

$$\begin{aligned} & \overset{5 \rightarrow 1}{\text{大人}} \times \overset{4 \rightarrow 2}{\text{子ども}} = {}_5C_1 \times {}_4C_2 \\ & = 5 \times \frac{4 \times 3}{2 \times 1} = 30 \text{通り} // \end{aligned}$$

(2) 子どもが少なくとも1人含まれるように選ぶ。

$$\begin{aligned} & \overset{9 \rightarrow 3}{\text{全体}} - \left(\begin{array}{l} \text{子どもが少なくとも1人含まれない} \\ \text{3人ととも大人(5} \rightarrow \text{3)} \end{array} \right) \\ & = {}_9C_3 - {}_5C_3 = \frac{9 \times 8 \times 7}{3 \times 2 \times 1} - \frac{5 \times 4 \times 3}{3 \times 2 \times 1} \\ & = 84 - 10 = 74 \text{通り} // \end{aligned}$$

4 8人を次のようにする方法は何通りあるか。

(1) 3人、3人、2人の3組に分ける

$$\frac{{}_8C_3 \times {}_5C_3 \times {}_2C_2}{2!} = \frac{56 \times 10 \times 1}{2} = 280 \text{通り} //$$

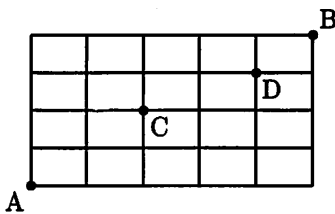
(2) 2人ずつの4組に分ける

$$\begin{aligned} & \frac{{}_8C_2 \times {}_6C_2 \times {}_4C_2 \times {}_2C_2}{4!} = \frac{28 \times 15 \times 6 \times 1}{24} \\ & = 105 \text{通り} // \end{aligned}$$

1 10人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

2 MINAMIという単語の6文字全部を使ってできる文字列は、何通りか。

3 ある町には、下の図のような道がある。



次の場合の最短経路は何通りあるか。

(1) AからBまで行く。

(2) AからCを通ってBまで行く。

(3) AからCを通らずにBまで行く。

(4) AからCとDを通らずにBまで行く。

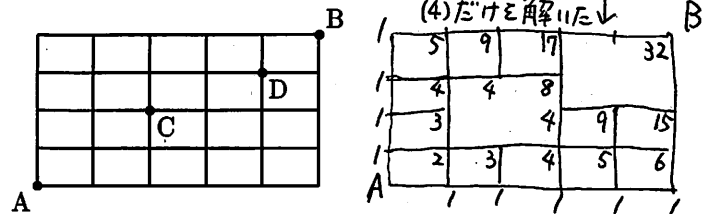
1 10人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

$${}_{10}C_2 = \frac{10 \times 9}{2 \times 1} = 45 \text{通り}$$

2 MINAMIという単語の6文字全部を使ってできる文字列は、何通りか。

$$\frac{6!}{2!2!1!1!1!} = \frac{6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1}{2 \times 2} = 6 \times 5 \times 3 \times 2 = 180 \text{通り}$$

3 ある町には、下の図のような道がある。



次の場合の最短経路は何通りあるか。

(1) AからBまで行く。

→ 5, ↑ 4, 並 3

$$\frac{9!}{5!4!} = \frac{9 \times 8 \times 7 \times 6}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 126 \text{通り}$$

(2) AからCを通ってBまで行く。

$$\frac{4!}{2! \times 2!} \times \frac{5!}{3! \times 2!} = 6 \times 10 = 60 \text{通り}$$

(AからCまで) × (CからBまで)

(3) AからCを通らずにBまで行く。

$$126 - 60 = 66 \text{通り}$$

(4) AからCとDを通らずにBまで行く。

A → C → B は 60通り

A → D → B は $\frac{7!}{4!3!} \times \frac{2!}{1!1!} = 35 \times 2 = 70$ 通り

A → C → D → B は $\frac{4!}{2!2!} \times \frac{3!}{2!1!} \times \frac{2!}{1!1!} = 36$ 通り

よって AからCまたはDを通りBまで行く経路は

$$60 + 70 - 36 = 94 \text{通り}$$

AからCとDを通らずにBまで行く経路は

$$126 - 94 = 32 \text{通り}$$

(これは2と同じ
「同じものを区別し順序」
です)

ショートトライアル 場合の数と確率 9

組 番 氏名

1 10人の生徒からリレーの選手として第一走者と第二走者を選ぶ方法は何通りあるか。

2 9人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

3 NANKOという単語の5文字全部を使ってできる文字列は、何通りか。

4 6人を2人ずつの3組に分ける分け方は何通りか。

5 p, h, o, n, eの5文字を並べたものをアルファベット順に並べる。次の問いに答えよ。

(1) 1番目と120番目は何か。

1番目	120番目
-----	-------

(2) nephoは何番目か。

(3) 84番目は何か。

1 10人の生徒からリレーの選手として第一走者と第二走者を選ぶ方法は何通りあるか。

2 9人の生徒から2人の委員を選ぶ方法は何通りあるか。

3 NANKOという単語の5文字全部を使ってできる文字列は、何通りか。

4 6人を2人ずつの3組に分ける分け方は何通りか。

5 p, h, o, n, eの5文字を並べたものをアルファベット順に並べる。次の問いに答えよ。

(1) 1番目と120番目は何か。

1番目 ehnop	120番目 ponhe
-----------	-------------

(2) nephoは何番目か。→ 31524は何番目か。

1□□□□ → 4! = 24

2□□□□ → 4! = 24

3 | 2□□ → 2! = 2

3 | 4□□ → 2! = 2

3 | 5 2 4 は 24 + 24 + 2 + 2 + 1 = 53番目

(3) 84番目は何か。

1□□□□ → 4! = 24

2□□□□ → 4! = 24

3□□□□ → 4! = 24 じゃ 72

4 1□□□ → 3! = 6 じゃ 78

4 2 1□□ → 2! = 2 " 80

4 2 3□□ → 2! = 2 " 82

4 2 5 1 3 が 83番目

4 2 5 3 1 が 84番目 なのぞ ohpne

e → 1
h → 2
n → 3
o → 4
p → 5
と する

1 大人2人、子ども3人が1列に並ぶとき、つぎのような並び方は何通りあるか。

(1) 子ども3人が続いて並ぶ

(2) 大人と子どもが交互に並ぶ

2 白玉3個、赤玉5個入っている袋から、玉を3個同時に取り出す。次のような事象が起こる確率を求めよ。

(1) 白玉1個と赤玉2個が出る。

(2) 3個の玉が同じ色。

(3) 少なくとも1個は赤玉が出る。

3 3個の文字 a, b, c から重複を許して6個取る組合せの総数を求めよ。

4 等式 $x+y+z=7$ を満たす負でない整数 x, y, z の組は全部で何個あるか。

1 大人2人、子ども3人が1列に並ぶとき、つぎのような並び方は何通りあるか。

(1) 子ども3人が続いて並ぶ

(2) 大人と子どもが交互に並ぶ

2 白玉3個、赤玉5個入っている袋から、玉を3個同時に取り出す。次のような事象が起こる確率を求めよ。

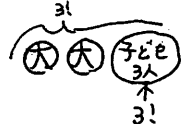
(1) 白玉1個と赤玉2個が出る。

(2) 3個の玉が同じ色。

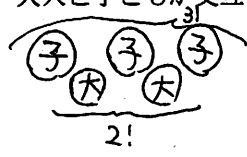
(3) 少なくとも1個は赤玉が出る。

3 3個の文字 a, b, c から重複を許して6個取る組合せの総数を求めよ。

4 等式 $x+y+z=7$ を満たす負でない整数 x, y, z の組は全部で何個あるか。



$$3! \times 3! = 36 \text{ 通り} //$$



$$3! \times 2! = 12 \text{ 通り} //$$

$$\frac{3 \rightarrow 1, 5 \rightarrow 2}{\text{全体 } 8 \rightarrow 3} = \frac{{}_3C_1 \times {}_5C_2}{{}_8C_3} = \frac{3 \times 10}{56} = \frac{15}{28} //$$

$$\frac{\text{白3}}{\text{全体}} + \frac{\text{赤3}}{\text{全体}} = \frac{{}_3C_3}{{}_8C_3} + \frac{{}_5C_3}{{}_8C_3} = \frac{1}{56} + \frac{10}{56} = \frac{11}{56} //$$

$$1 - \frac{\text{白3}}{\text{全体}} = 1 - \frac{{}_3C_3}{{}_8C_3} = 1 - \frac{1}{56} = \frac{55}{56} //$$

(1) 2個, (2) 6個 並べる総数と等しいの2¹

$$\frac{8!}{2!6!} = \frac{8 \times 7}{2 \times 1} = 28 \text{ 通り} //$$

(3) 00|0|000 → aが2, bが1, cが3

(1) 2個, (2) 7個 並べる総数と等しいの2¹

$$\frac{9!}{2!7!} = \frac{9 \times 8}{2 \times 1} = 36 \text{ 通り} //$$

(3) 0000|00|0 → x=4, y=2, z=1

Point 0000|0000 → x=0, y=3, z=4
重複組合せは 1¹と 2¹と 0¹を併せて、その問題とどのように表現するかを考える(3)

1 袋Aには白玉4個、赤玉6個、袋Bには白玉5個、赤玉3個が入っている。袋A、袋Bから玉を1個ずつ取り出すとき、取り出した2個の玉が同じ色である確率を求めよ。

1 袋Aには白玉4個、赤玉6個、袋Bには白玉5個、赤玉3個が入っている。袋A、袋Bから玉を1個ずつ取り出すとき、取り出した2個の玉が同じ色である確率を求めよ。

$$\begin{aligned} & (A\text{が白})(B\text{が白}) + (A\text{が赤})(B\text{が赤}) \\ & \frac{4}{10} \times \frac{5}{8} + \frac{6}{10} \times \frac{3}{8} \\ & = \frac{20}{80} + \frac{18}{80} = \frac{38}{80} = \frac{19}{40} \# \end{aligned}$$

2 1個のさいころを3回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 1回目に4の目、2回目に奇数、3回目に2以下の目が出る確率。

2 1個のさいころを3回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 1回目に4の目、2回目に奇数、3回目に2以下の目が出る確率。

$$\frac{1}{6} \times \frac{3}{6} \times \frac{2}{6} = \frac{1}{36} \#$$

(2) 少なくとも1回は5以上の目が出る確率。

(2) 少なくとも1回は5以上の目が出る確率。

$$1 - \left(\frac{4}{6}\right)^3 = 1 - \frac{8}{27} = \frac{19}{27} \#$$

5以上が出ない

(3) 出た目の最大値が4となる確率

(3) 出た目の最大値が4となる確率

$$\left(\frac{4}{6}\right)^3 - \left(\frac{3}{6}\right)^3 = \frac{64-27}{216} = \frac{37}{216} \#$$

最大値が4以下
1~4が3回出る 最大値が3以下
1~3が3回出る

3 5個の数字1, 2, 3, 4, 5を使ってできる、次のような整数は何個あるか。ただし、同じ数字は2度以上使わないものとする。

(1) 4桁の整数

3 5個の数字1, 2, 3, 4, 5を使ってできる、次のような整数は何個あるか。ただし、同じ数字は2度以上使わないものとする。

(1) 4桁の整数

$${}_5P_4 = 5 \times 4 \times 3 \times 2 = 120 \text{個}$$

(2) 4桁の整数で3200より小さいもの

(2) 4桁の整数で3200より小さいもの

$$\begin{aligned} 1 \square \square \square & \quad {}_4P_3 = 24 \text{個} \\ 2 \square \square \square & \quad {}_4P_3 = 24 \text{個} \\ 31 \square \square & \quad {}_3P_2 = 6 \text{個} \end{aligned}$$

$$24 + 24 + 6 = 54 \text{個} \#$$

1 1個のさいころを3回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 1回目に2の目以上、2回目に3の目、3回目に偶数の目が出る確率。

(2) 少なくとも1回は奇数の目が出る確率。

(3) 出た目の最小値が4となる確率

2 白玉4個、赤玉2個が入っている袋から玉を1個取り出し、色を調べてからもとに戻す。この試行を5回続けて行う時、次の確率を求めよ。

(1) 白玉が4回以上出る確率

(2) 5回目に2回目の白玉が出る確率

3 6人を次のようにする方法は何通りあるか。

(1) 2人、2人、2人の3組に分ける

(2) 3人ずつの2組に分ける

1 1個のさいころを3回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 1回目に2の目以上、2回目に3の目、3回目に偶数の目が出る確率。

$$\frac{5}{6} \times \frac{1}{6} \times \frac{3}{6} = \frac{5}{72} \#$$

(2) 少なくとも1回は奇数の目が出る確率。

$$1 - \left(\frac{3}{6}\right)^3 = \frac{7}{8} \#$$

奇数の目が出る。

(3) 出た目の最小値が4となる確率

$$\left(\frac{3}{6}\right)^3 - \left(\frac{2}{6}\right)^3 = \frac{27-8}{216} = \frac{19}{216} \#$$

最小値が4以上 4~6が出る 最小値が5以上 5,6が出る

2 白玉4個、赤玉2個が入っている袋から玉を1個取り出し、色を調べてからもとに戻す。この試行を5回続けて行う時、次の確率を求めよ。

(1) 白玉が4回以上出る確率

$${}^5C_4 \left(\frac{4}{6}\right)^4 \left(\frac{2}{6}\right)^1 + \left(\frac{4}{6}\right)^5$$

$$= 5 \times \frac{16}{3^5} + \frac{2^5}{3^5} = \frac{80+32}{3^5} = \frac{112}{243} \#$$

(2) 5回目に2回目の白玉が出る確率

$${}^4C_1 \left(\frac{4}{6}\right)^1 \left(\frac{2}{6}\right)^3 \times \frac{4}{6} = 4 \times \frac{2}{3^4} \times \frac{2}{3} = \frac{16}{243} \#$$

4回試行して、白玉が1回出る 5回目に白玉

3 6人を次のようにする方法は何通りあるか。

(1) 2人、2人、2人の3組に分ける

$$\frac{{}^6C_2 \times {}^4C_2 \times {}^2C_2}{3!} = \frac{15 \times 6 \times 1}{6} = 15 \text{通り} \#$$

(2) 3人ずつの2組に分ける

$$\frac{{}^6C_3 \times {}^3C_3}{2!} = \frac{20 \times 1}{2} = 10 \text{通り} \#$$

1 ある鉄道の乗客のうち、全体の45%が定期券利用者で、全体の10%が学生の定期券利用者である。定期券利用者の中から1人を選び出すとき、その人が学生である確率を求めよ。

1 ある鉄道の乗客のうち、全体の45%が定期券利用者で、全体の10%が学生の定期券利用者である。定期券利用者の中から1人を選び出すとき、その人が学生である確率を求めよ。

$$\begin{aligned} \left(\frac{\text{定期券利用者} \cap \text{学生}}{\text{学生である確率}} \right) &= \frac{\text{定期券利用者} \cap \text{学生}}{\text{定期券利用者}} \\ \text{point} \quad \text{条件は分母} &= \frac{\frac{10}{100}}{\frac{45}{100}} = \frac{10}{45} = \frac{2}{9} \end{aligned}$$

2 AとB、2つの野球チームが繰り返し対戦し、先に3回勝ったチームを優勝とする。各試合でAがBに勝つ確率を $\frac{2}{3}$ とし、引き分けはないものとする。次の問いに答えよ。

2 AとB、2つの野球チームが繰り返し対戦し、先に3回勝ったチームを優勝とする。各試合でAがBに勝つ確率を $\frac{2}{3}$ とし、引き分けはないものとする。次の問いに答えよ。

(1) Aが初戦から3連勝で優勝する確率を求めよ。

(1) Aが初戦から3連勝で優勝する確率を求めよ。

$$\left(\frac{2}{3}\right)^3 = \frac{8}{27}$$

(2) Aが3勝2敗で優勝する確率を求めよ。

(2) Aが3勝2敗で優勝する確率を求めよ。

$$4C_2 \left(\frac{2}{3}\right)^2 \left(\frac{1}{3}\right)^2 \times \frac{2}{3} = \frac{16}{81}$$

(4試合してAの2勝2敗) × (A勝)

(3) Bが優勝する確率を求めよ。

(3) Bが優勝する確率を求めよ。

$$\begin{aligned} (Aの3勝1敗優勝) &= {}_3C_2 \left(\frac{2}{3}\right)^2 \left(\frac{1}{3}\right)^2 \times \frac{2}{3} = \frac{24}{81} \\ (Bの優勝) &= 1 - (Aの優勝) \\ &= 1 - \left(\frac{8}{27} + \frac{16}{81} + \frac{24}{81}\right) = \frac{17}{81} \end{aligned}$$

(4) Aが初戦から2連勝した。この後、Aが優勝する確率を求めよ。

(4) Aが初戦から2連勝した。この後、Aが優勝する確率を求めよ。

$$\begin{aligned} Bが2連敗から優勝する確率は \left(\frac{1}{3}\right)^2 &= \frac{1}{9} \\ \text{よって} \quad 1 - \frac{1}{9} &= \frac{8}{9} \end{aligned}$$

3 1個のさいころを4回続けて投げるとき、偶数の目が2回、1または3の目が1回、5の目が1回出る確率を求めよ。

3 1個のさいころを4回続けて投げるとき、偶数の目が2回、1または3の目が1回、5の目が1回出る確率を求めよ。

$$\frac{4!}{2!1!1!} \left(\frac{3}{6}\right)^2 \left(\frac{2}{6}\right)^1 \left(\frac{1}{6}\right)^1 = \frac{1}{6}$$

↑ 偶 偶 1, 3 5 E並べ

1 1個のさいころを6回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 3の倍数の目がちょうど2回出る確率

(2) 奇数の目が3回、2の目が1回、4または6の目が2回出る確率

2 ある工場では同じ製品をA, Bの2つの機械で製造しているが、不良品が現れる確率はA機械の製品では4%, B機械の製品では7%である。また、A製品とB製品で製造する製品の割合は5:3である。いま、製品の中から1個取り出して不良品であったとき、それがA機械の製品である確率を求めよ。

3 4人を、3つの部屋A, B, Cに入れる方法は何通りあるか。ただし、一人も入らない部屋があってもよいものとする。

1 1個のさいころを6回続けて投げるとき、次の確率を求めよ。

(1) 3の倍数の目がちょうど2回出る確率

$${}^6C_2 \left(\frac{2}{6}\right)^2 \left(\frac{4}{6}\right)^4 = 15 \times \left(\frac{1}{3}\right)^2 \left(\frac{2}{3}\right)^4 = \frac{80}{243} \#$$

(2) 奇数の目が3回、2の目が1回、4または6の目が2回出る確率

$$\frac{6!}{3! 1! 2!} \left(\frac{3}{6}\right)^3 \left(\frac{1}{6}\right)^1 \left(\frac{2}{6}\right)^2 = \frac{5}{36} \#$$

↑
奇 奇 奇 2 4/6 6/6 を並べる

2 ある工場では同じ製品をA, Bの2つの機械で製造しているが、不良品が現れる確率はA機械の製品では4%, B機械の製品では7%である。また、A製品とB製品で製造する製品の割合は5:3である。いま、製品の中から1個取り出して不良品であったとき、それがA機械の製品である確率を求めよ。

$$\begin{aligned} \left(\begin{array}{l} \text{不良品がある条件で} \\ \text{A機械である確率} \end{array} \right) &= \frac{\text{不良品が、A機械} \dots \text{①}}{\text{不良品がある}} \\ & \text{条件は分母} \quad \text{(point) の分母と分子は「可」で解決!!} \\ \left(\begin{array}{l} \text{不良品がある} \\ \text{確率} \end{array} \right) &= (A\text{の不良品}) + (B\text{の不良品}) \\ &= \frac{5}{8} \times \frac{4}{100} + \frac{3}{8} \times \frac{7}{100} \\ &= \frac{20}{800} + \frac{21}{800} = \frac{41}{800} \end{aligned}$$

①より求める条件付き確率は

$$\frac{\frac{20}{800}}{\frac{41}{800}} = \frac{20}{41} \#$$

3 4人を、3つの部屋A, B, Cに入れる方法は何通りあるか。ただし、一人も入らない部屋があってもよいものとする。

$$3^4 = 81 \text{ 通り} \#$$

1 10本中当たりくじが4本のくじがある。このくじから同時に3本を引くとき、次の確率を求めよ。

(1) 2本の当たりと1本のはずれを引く確率

(2) 少なくとも1本当たる確率

2 1個のさいころを投げて、1の目が出ると1000円、2または3の目が出ると400円、4以上の目が出ると100円の賞金が得られる。この試行において、さいころを1回投げて得られる賞金額の期待値を求めよ。

3 ある病原菌の検査試薬は、病原菌に感染しているのに誤って陰性と判断する確率が2%、感染していないのに誤って陽性と判断する確率が5%である。全体の10%が病原菌に感染している集団から1つの個体を取り出して陽性だったときに、実際は病原菌に感染していない確率を求めよ。

1 10本中当たりくじが4本のくじがある。このくじから同時に3本を引くとき、次の確率を求めよ。

(1) 2本の当たりと1本のはずれを引く確率

$$\frac{\overset{4}{\text{当}2} \times \overset{6}{\text{は}1}}{\underset{10}{\text{全体}} \rightarrow 3} = \frac{4C_2 \times 6C_1}{10C_3} = \frac{6 \times 6}{120} = \frac{3}{10} \#$$

(2) 少なくとも1本当たる確率

$$1 - \frac{\overset{6}{\text{は}3}}{\underset{10}{\text{全体}} \rightarrow 3} = 1 - \frac{6C_3}{10C_3} = 1 - \frac{20}{120} = \frac{5}{6} \#$$

2 1個のさいころを投げて、1の目が出ると1000円、2または3の目が出ると400円、4以上の目が出ると100円の賞金が得られる。この試行において、さいころを1回投げて得られる賞金額の期待値を求めよ。

X	1000	400	100	合計
P	$\frac{1}{6}$	$\frac{2}{6}$	$\frac{3}{6}$	1
xP	$\frac{1000}{6}$	$\frac{800}{6}$	$\frac{300}{6}$	$\frac{2100}{6}$

$$\text{求める期待値は } \frac{2100}{6} = 350 \text{円} \#$$

3 ある病原菌の検査試薬は、病原菌に感染しているのに誤って陰性と判断する確率が2%、感染していないのに誤って陽性と判断する確率が5%である。全体の10%が病原菌に感染している集団から1つの個体を取り出して陽性だったときに、実際は病原菌に感染していない確率を求めよ。

$$\frac{\text{陽性である条件付} \text{感染していない確率}}{\text{条件は分母}} = \frac{\text{陽性であるか感染していない}}{\text{陽性である}} \quad \textcircled{1}$$

↑
この分母を求めればOKと解決

$$\begin{aligned} \text{陽性である確率} &= \left(\begin{array}{l} \text{感染している} \\ \text{か陽性} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{感染していない} \\ \text{か陽性} \end{array} \right) \\ &= \frac{10}{100} \times \frac{98}{100} + \frac{90}{100} \times \frac{5}{100} \\ &= \frac{980}{10000} + \frac{450}{10000} = \frac{1430}{10000} \end{aligned}$$

①より求める条件付確率は

$$\frac{\frac{450}{10000}}{\frac{1430}{10000}} = \frac{450}{1430} = \frac{45}{143} \#$$

1 赤玉4個、白玉2個が入っている袋がある。この袋から玉を2個同時に取り出し、取り出された赤玉1個について賞金100円を受けるゲームがある。このゲームを1回行ったときの賞金の期待値を求めよ。
(小数第1位まで)

2 数直線上を動く点Pが原点の位置にある。1個のさいころを投げて、偶数が出たときには数直線上の点Pは正の向きに1だけ進み、奇数が出たときにはPは負の向きに2だけ進む。さいころを5回続けて投げたとき、点Pの座標が-1である確率を求めよ。

3 当たりくじ3本を含む8本のくじの中から、引いたくじはもとに戻さないで、1本ずつ2回続けてくじを引く。このとき次の確率を求めよ。

(1) 2本とも当たる確率

(2) 2回目に引いたくじが当たりであったとき、1回目に引いたくじがはずれである確率

1 赤玉4個、白玉2個が入っている袋がある。この袋から玉を2個同時に取り出し、取り出された赤玉1個について賞金100円を受けるゲームがある。このゲームを1回行ったときの賞金の期待値を求めよ。

賞金 X とすると $X = 0, 100, 200$

$$P(X=0) = \frac{\text{白2}}{\text{全体}} = \frac{{}_2C_2}{{}_6C_2} = \frac{1}{15}$$

$$P(X=100) = \frac{\text{赤1} \times \text{白1}}{\text{全体}} = \frac{{}_4C_1 \times {}_2C_1}{{}_6C_2} = \frac{8}{15}$$

$$P(X=200) = \frac{\text{赤2}}{\text{全体}} = \frac{{}_4C_2}{{}_6C_2} = \frac{6}{15}$$

X	0	100	200	計
P	$\frac{1}{15}$	$\frac{8}{15}$	$\frac{6}{15}$	1
$X \cdot P$	$\frac{0}{15}$	$\frac{800}{15}$	$\frac{1200}{15}$	$\frac{2000}{15}$

求める期待値は $\frac{2000}{15} = \frac{400}{3} = 133.3$ 円

2 数直線上を動く点Pが原点の位置にある。1個のさいころを投げて、偶数が出たときには数直線上の点Pは正の向きに1だけ進み、奇数が出たときにはPは負の向きに2だけ進む。さいころを5回続けて投げたとき、点Pの座標が-1である確率を求めよ。

偶数が出た回数 r とすると奇数は $5-r$ 回出る

5回さいころを投げた後に点Pは-1だから

$$1 \times r + (-2) \times (5-r) = -1 \quad \text{より } r = 3$$

求める確率は ${}_5C_3 \left(\frac{1}{2}\right)^3 \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{5}{16}$

3 当たりくじ3本を含む8本のくじの中から、引いたくじはもとに戻さないで、1本ずつ2回続けてくじを引く。このとき次の確率を求めよ。

(1) 2本とも当たる確率

$$\frac{3}{8} \times \frac{2}{7} = \frac{3}{28}$$

(2) 2回目に引いたくじが当たりであったとき、1回目に引いたくじがはずれである確率

(2回目当たりの条件で) (2回目当たり)かつ(1回目ははずれ)の確率 = $\frac{\text{2回目当たり}}{\text{2回目当たり}}$... ①

(2回目当たりの確率) = (1回目当たり) + (1回目ははずれ) (2回目当たり)

= $\frac{3}{8} \times \frac{2}{7} + \frac{5}{8} \times \frac{3}{7} = \frac{21}{56}$

①より求める条件付き確率は $\left(\frac{5}{8} \times \frac{3}{7}\right) \div \frac{21}{56} = \frac{15}{21} = \frac{5}{7}$